アプリの登録

Microsoft Azure

ホーム >

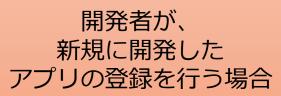


<<

- 1 概要
- ・ プレビュー機能
- お問題の診断と解決

管理

- 🗼 ユーザー
- 🎎 グルーブ
- **External Identities**
- 🚣 ロールと管理者
- 🔼 管理単位
- ◆ 代理管理者パートナー
- 🔣 エンタープライズ アプリケーション
- デバイス
- … アプリの登録
- Identity Governance
- ₩ アプリケーション プロキシ
- カスタム セキュリティ属性 (プレ ビュー)



■アプリの登録で、「gyomuapp1」 の登録を行う

ホーム > contoso | アプリの登録 > アプリケーションの登録

* 名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名(後で変更できます)。

gyomuapp1

サポートされているアカウントの種類

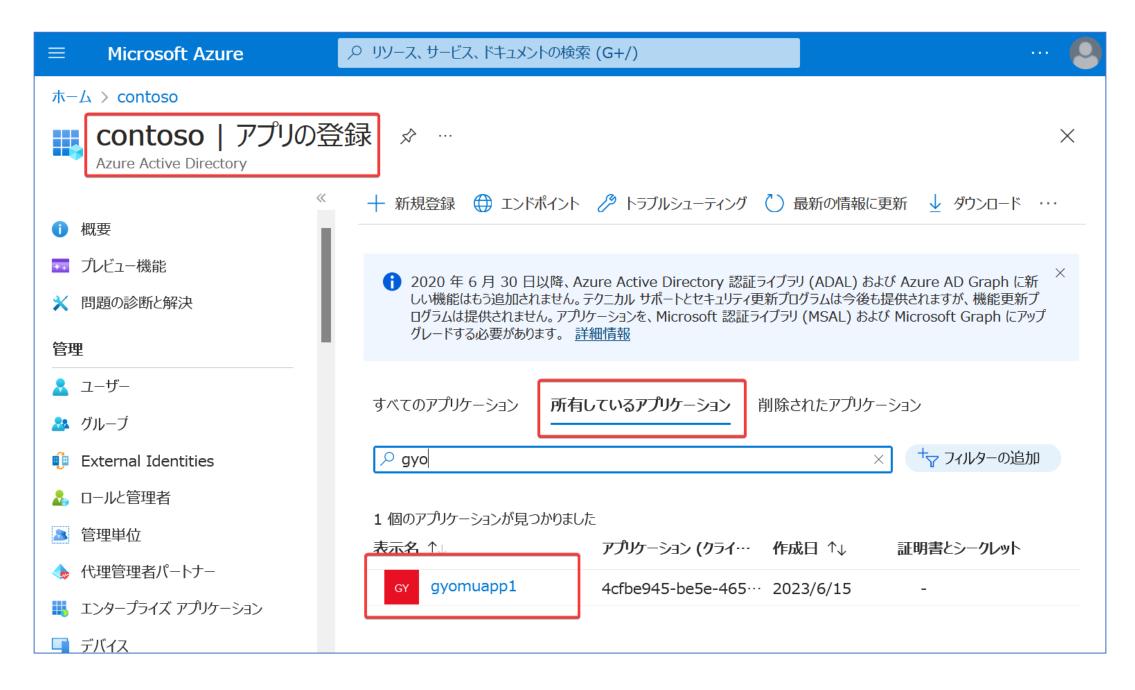
このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?

- この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (contoso のみ シングル テナント)
- 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ マルチテナント)
- ◯ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)
- 個人用 Microsoft アカウントのみ

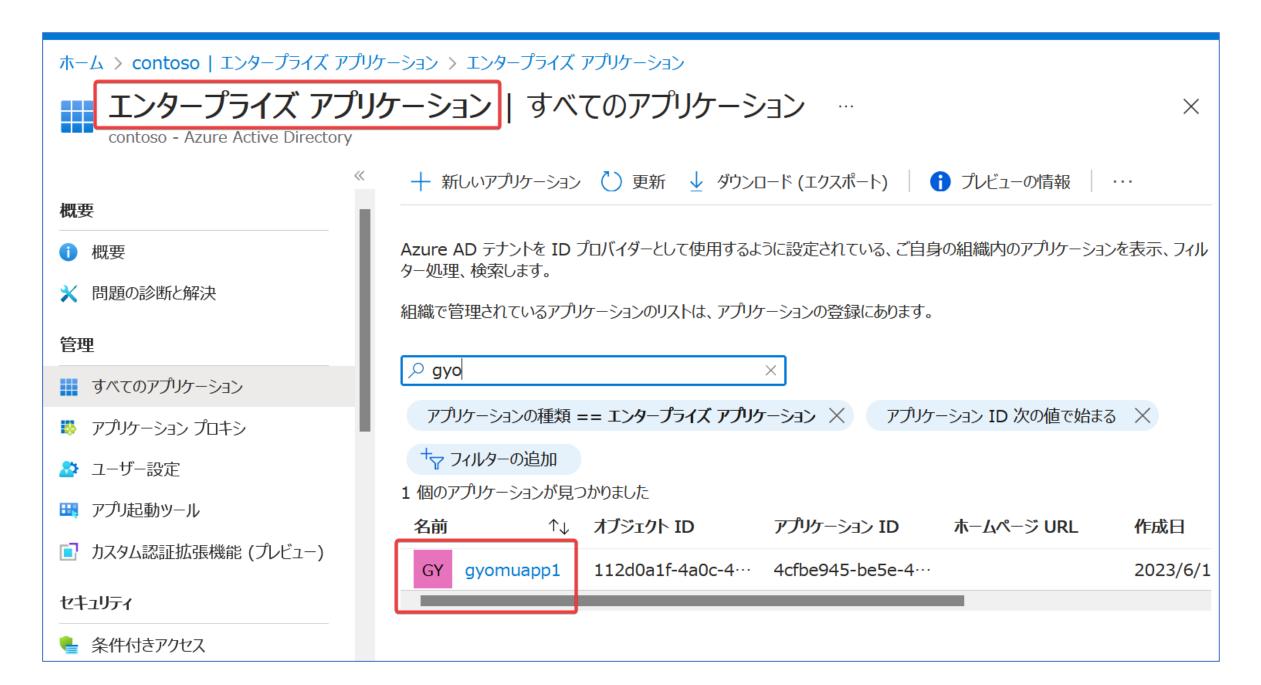
続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります 🗗

登録

■「アプリの登録」の一覧画面に表示される



■「エンタープライズアプリケーション」の一覧画面にも表示される



■なぜ、「アプリの登録」をすると、「エンタープライズアプリケーション」にもアプリが追加されるのか?

ポータルでアプリケーションを登録すると、ホーム テナントに**アプリケーション オブジェクト**と**サービス プリンシパル オブジェクト**が**自動的に作成**されます。

Azure portal の [エンタープライズ アプリケーション] ページを使用して、テナントのサービス プリンシパルを一覧表示および管理することができます。 サービス プリンシパルのアクセス許可、ユーザーが同意したアクセス許可、その同意を行ったユーザー、サインイン情報などを確認できます。

Azure portal の [**アプリの登録**] ページを使用して、ホーム テナントのアプリケーション オブジェクトを一覧表示し、管理することができます。

アプリケーションオブジェクト

- Azure ADに登録されたアプリケーションを表す
- 「アプリの登録」画面に表示される
- アプリケーションが登録されたテナントに作成される

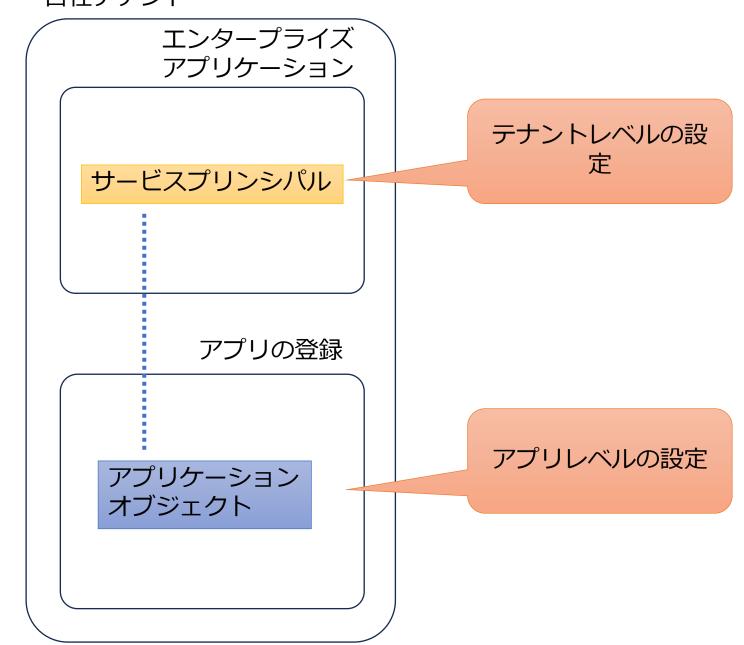
アプリの名前、URL、アイコン、トークンの発行方法、アプリ がアクセスするリソース、アプリが実行できるアクションなど、 テナントによらないアプリの設定が記録される

サービスプリンシパル

• アプリを表すID

- 「エンタープライズアプリケーション」画面に表示される
- アプリを利用する各テナントに作成される
- アプリにアクセスできるユーザー/グループなど、テナントごとのアプリの設定が記録される

■「シングルテナント」アプリ(アプリを自社でのみ利用)の場合 自社テナント



■「マルチテナント」アプリ(他社テナントのユーザーにも使用を許可)の場合 自社テナント 他社テナント エンタープライズ エンタープライズ アプリケーション アプリケーション テナントレ テナントレ ベルの設定 ベルの設定 サービスプリンシパル サービスプリンシパル アプリの登録 アプリの登録 アプリケーション アプリレベルの設定 オブジェクト

エンタープライズアプリケーションの追加

■ Microsoft Azure

ホーム >



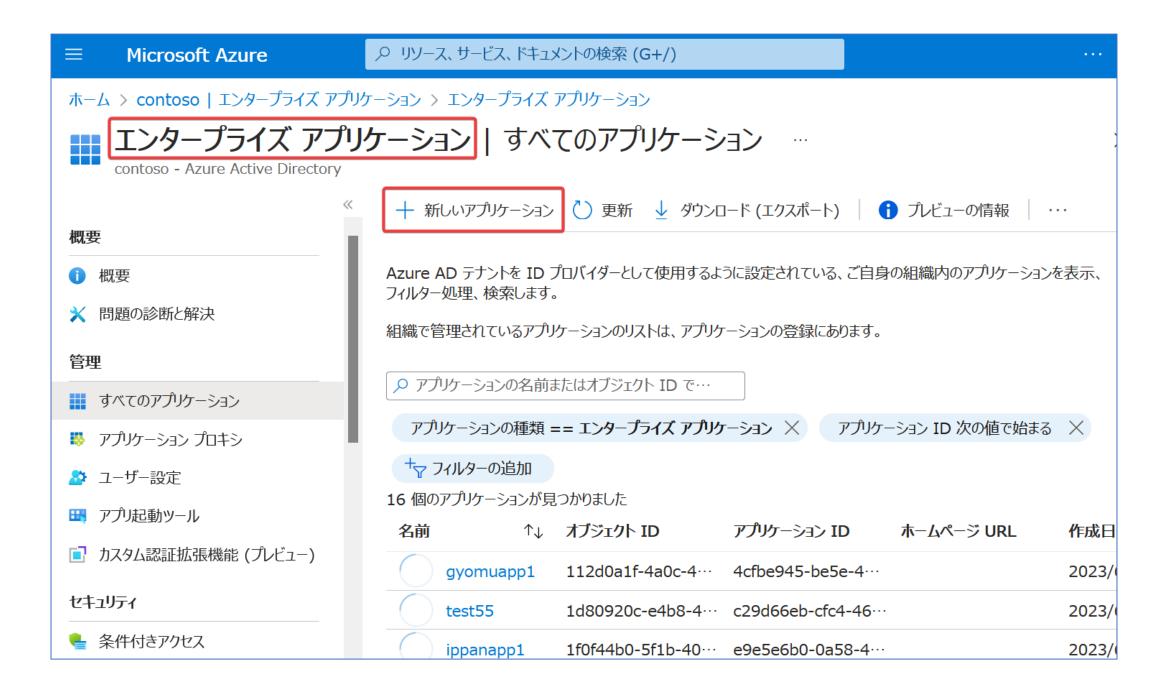
<

- 1 概要
- ▼ プレビュー機能
- * 問題の診断と解決

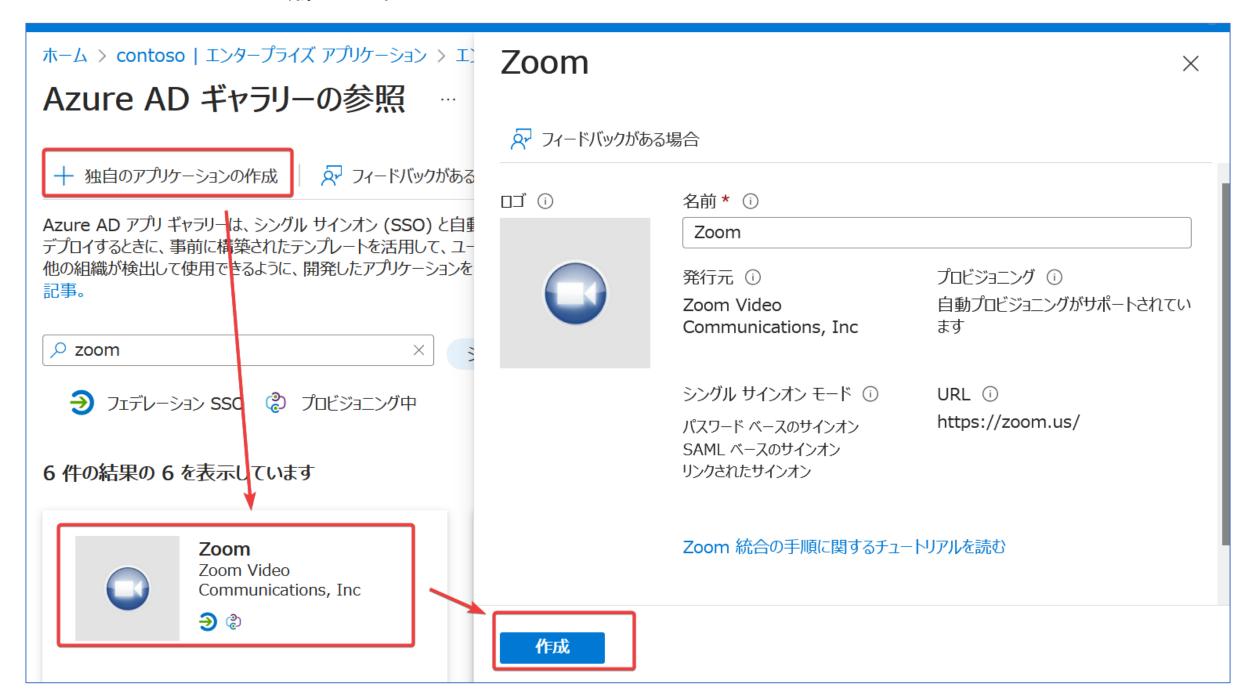
管理

- 🗼 ユーザー
- 🎎 グルーブ
- **External Identities**
- ♣ ロールと管理者
- 🔼 管理単位
- ◆ 代理管理者パートナー
- エンタープライズ アプリケーション
- デバイス
- アプリの登録
- Identity Governance
- ₿ アプリケーション プロキシ
- カスタム セキュリティ属性 (プレ ビュー)

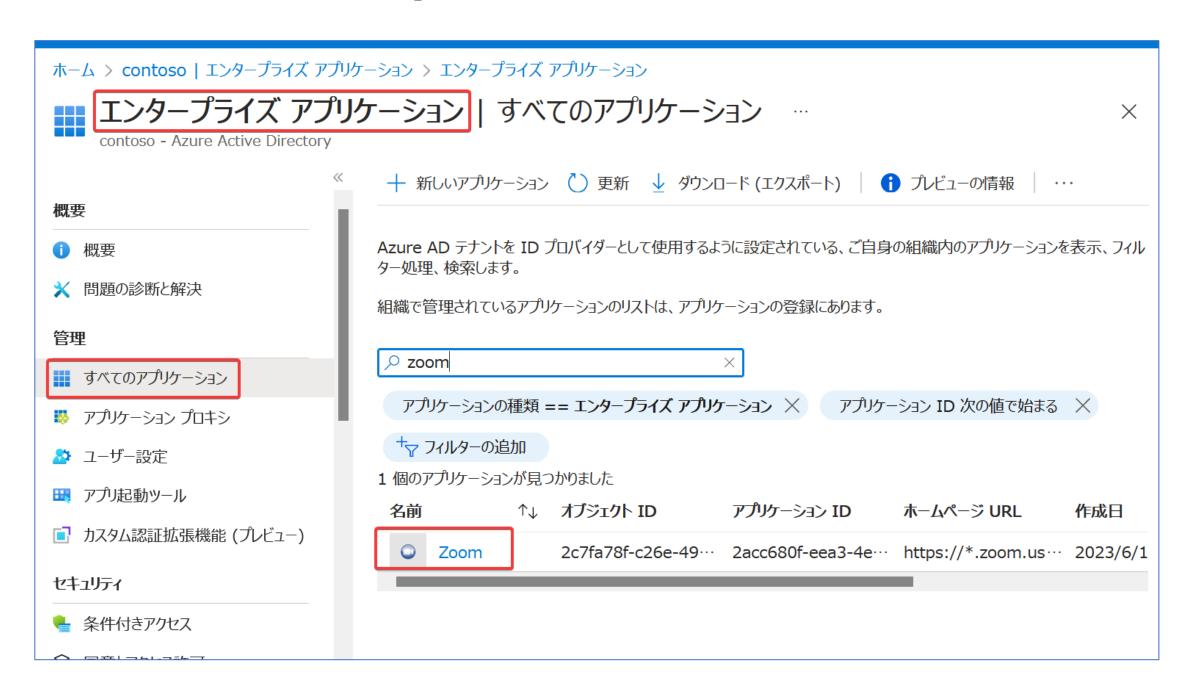
アプリケーション管理者が、 エンタープライズアプリケーション (Slack, Zoom等)を 追加する場合 ■「エンタープライズアプリケーション」の追加を行う



■たとえば、Zoom (TV会議アプリ) の追加を行う



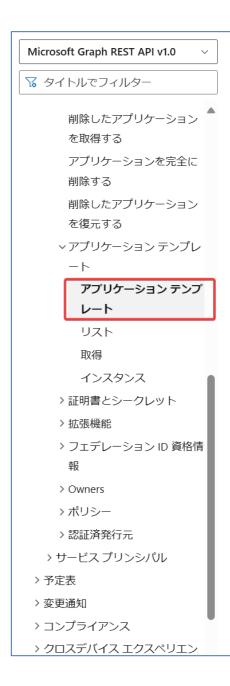
■「エンタープライズアプリケーション」の一覧画面に表示される



■「アプリの登録」にも Zoom が表示される



■なぜ、「エンタープライズアプリケーションの追加」をすると「アプリの登録」にもアプリが登録されるのか?



applicationTemplate リソースの種類

[アーティクル]・2023/03/26・6 人の共同作成者

♂ フィードバック

この記事の内容

メソッド プロパティ リレーションシップ JSON 表記

名前空間: microsoft.graph

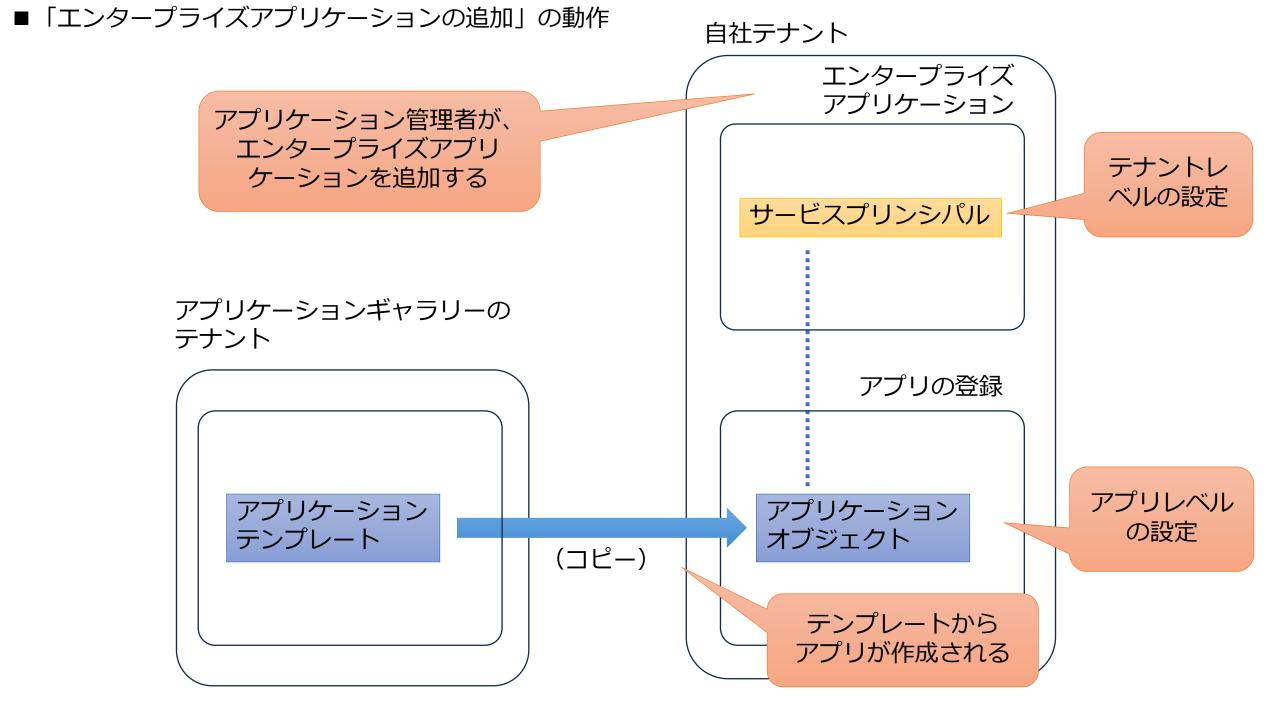
Azure AD アプリケーション ギャラリー内のアプリケーションを表します。

メソッド

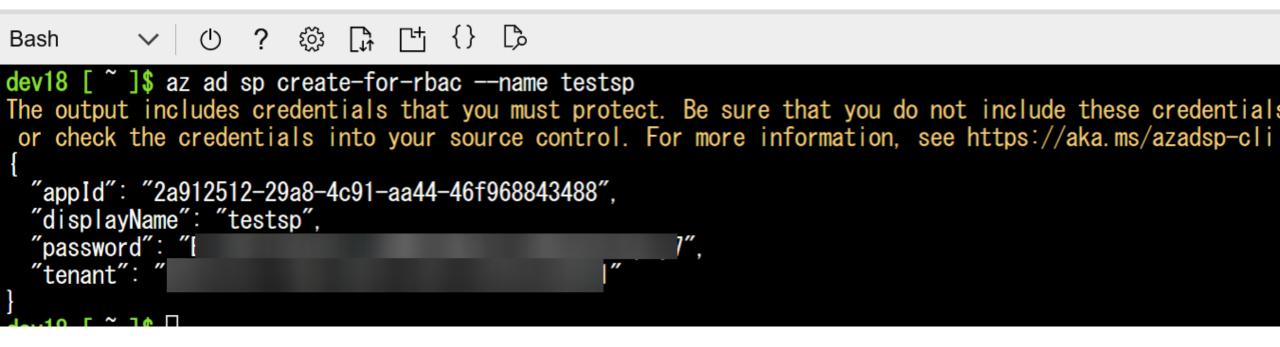
| メソッド | 戻り値の型 | 説明 |
|---------------------------------|-----------------------------|--|
| applicationTemplate の一覧 | applicationTemplate | applicationTemplate オブジェク トの一覧を取得します。 |
| applicationTemplate を取得する | applicationTemplate | applicationTemplate オブジェク トのプロパティとリレーション シップを読み取ります。 |
| applicationTemplate のインスタンス化 | applicationServicePrincipal | Azure AD アプリケーション ギャラリーからディレクトリにアプリケーションのインスタンスを追加します。 |

ギャラリー内のアプリは、 applicationTemplate という もので表される。

ギャラリーからアプリを追加する際に、テンプレートから設定をコピーして、アプリの登録が行われる (インスタンス化)



コマンドからのサービスプリンシパル作成



■サービスプリンシパルを作成するには、ベースとなるアプリが必要なので、アプリの登録が行われる



■「アプリの登録」のアプリをベースとして、サービスプリンシパルが作成される



- ■まとめ(1)
 - ・アプリケーションオブジェクト
 - アプリの登録を行ったテナントに作成される
 - テナントによらない、アプリレベルの設定が記録される
 - 「アプリの登録」画面に表示される
 - ・サービスプリンシパル
 - アプリを利用するテナントに作成される
 - テナントレベルの設定が記録される
 - 「エンタープライズアプリケーション」画面に表示される
 - アプリケーションオブジェクトとサービスプリンシパルの対応関係
 - サービスプリンシパルはアプリケーションオブジェクトに関連付けされている
 - アプリの種類が「シングルテナントアプリ」の場合、1つのテナント内に、アプリケーションオブジェクトとサービスプリンシパルが1つずつ作成される
 - アプリの種類が「マルチテナントアプリ」の場合、1つのテナント内にアプリケーションオブジェクトが1つ、アプリを使用する各テナントにサービスプリンシパルが1つ、作成される

■まとめ(2)

- アプリの登録(画面)
 - 新規に開発したアプリをAzure ADに登録したい際に使用する
 - アプリの登録が行われる(アプリケーションオブジェクトが作成される)
 - エンタープライズアプリケーションが追加される(サービスプリンシパルが作成される)
- エンタープライズアプリケーションの追加(画面)
 - ZoomなどのSaaSアプリをテナントで使用したい際に使用する
 - ギャラリーのテンプレートをベースとして、アプリの登録が行われる(アプリケーション オブジェクトが作成される)
 - エンタープライズアプリケーションが追加される(サービスプリンシパルが作成される)
- az ad sp create-for-rbacコマンドでのサービスプリンシパル作成
 - オンプレミスや開発環境などで、Azureにアクセスするアプリを実行する際に使用する
 - アプリの登録が行われる(アプリケーションオブジェクトが作成される)
 - エンタープライズアプリケーションが追加される(サービスプリンシパルが作成される)